

「ここにいたい、いてもよい」
そう思える安心な居場所に

小学校高学年及び 不登校のこどもの 居場所づくり事業



特定非営利活動法人むすびいと





なぜ、この居場所が必要だったのか

学校でも家でもない
「第三の居場所」の必要性

こども達の背景

不登校・登校しぶり

学校に「行っていない」という不安感や
「行かなければ」というプレッシャーを
抱えている

対人関係の難しさ

人とどのように関わればよいか分からず、
ひとりで過ごしがち

高学年の居場所不足

低学年中心の学童になじめず、
安心できる少人数の場が必要

刺激への疲れやすさ

大人数や決まった活動より、
自分のペースで過ごせる環境が必要

必要だったのは「何かをさせる場所」ではなく
「ありのまま過ごせる場所」でした





補助金で実施した2つの居場所

小学校高学年と不登校のこども達
それぞれに合った受け皿をつくりました

高学年×少人数の
居場所

ぬくもり

12名 週5日→週3日

利用児童

開所日数

少人数で、関係づくりに不安のあるこども達を
丁寧に見守りました



不登校の
こどもの居場所

ミライのたいよう

20名 週3日

登録人数

居場所 + 学習支援

学校との併用や、段階的な復帰も見据え、
こどものペースを大切にしました





こども達は、こんな毎日を過ごしました

活動内容を固定せず、
その日の気持ちや興味に合わせて
過ごせるようにしました



「決められた活動に参加する」のではなく、こども自身が選び、スタッフが見守る
その積み重ねが、安心と自信につながっていききました



大切にした3つの関わり

安心できる関係性をつくるために
活動よりも「関わり方」を大切にしました

無理に参加させない

来たらまず
「安心してすごす」
話したくない日も、
動きたくない日も、
その子の気持ちを
尊重しました

やりたい気持ちを支える

料理、工作、
外遊び、学習など
こどもの興味を起点に
活動が広がるよう
支えました

関係を急がない

すぐに友達をつくるこ
とを目標とせず、
同じ空間にいることか
ら少しずつ関係性を
育みました



「いてもよい」が土台に

安心できる大人と場所があることで、
こども達の表情や行動に少しずつ変化がうまれました

居場所の価値は、イベントの数ではなく
「ここにいてもよい」と思える時間の積み重ねでした





この1年で見えてきたこどもの変化

小さな変化が学校生活や
家庭生活にもつながりました

はじめのころ

- ひとりで過ごす時間が多い
- 人との関わりに不安がある
- 登校や学校行事に不安
- 自分に自信が持てない

少人数で安心できる
居場所



変化

- 友達と関われるように
- 学校行事に前向きに参加
- 委員会活動に立候補
- 中学校進学への意欲
- 閉所後に友人と遊ぶ約束

大きな変化は「登校できたか」だけでなく、
自分から人や未来に向かう自信が
少しずつ戻ったことです

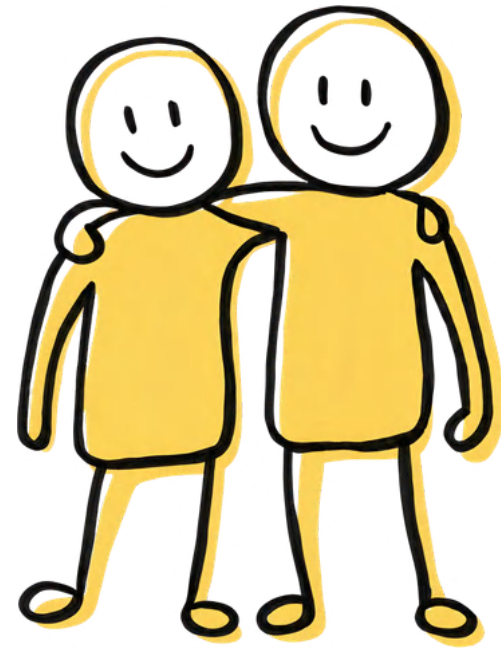




保護者から届いた声

こども本人だけでなく、
家庭にも安心と変化が広がりました

人と
コミュニケーションをとる
自信がついた！



できることが
増えた！



保護者にとっても、
こどもが安心して過ごせる場所があることは
日々の不安を少し軽くする支えになりました





補助金が支えたもの

交通費の補助は
こども達を見守る「人の継続」につながりました

交付決定額

374,000円

補助対象：ボランティアスタッフの交通費

交通費の支援

継続して来られる
スタッフが増える

見守る大人の確保

1日あたり
2～3名体制を
維持

安心できる居場所

こども達が
自分のペースで
すごせる

交通費は、単なる移動費ではなく
こども達を継続して見守るための大切な基盤でした





見えてきた課題と、次年度への引き継ぎ

事業の終了も含め
得た知見を次の支援へ
つなげます

見えてきた課題

- 慢性的なスタッフ不足
- 安全面の確保
- 財政的な制約
- 法人内の事業全体とのバランス

ぬくもりについて

高学年に特化した少人数の場所として一定の成果があったが、体制面等を踏まえ、
2026年3月末で終了した

ミライのたいようについて

2026年度以降も継続し、学校との併用や、段階的な復帰も含め、一人ひとりに応じた
支援を続けていく



終了した事業で得た関わり方や
支援のノウハウは
法人内の他事業へ継承し
今後のこども支援に活かしていきます



これからも
目の前のこども達に合った
関わりを続けていきます

「ここにいたい」
「いてもよい」

そう思える安心な居場所を
地域の皆様と一緒につくっていきます

ご支援いただき、ありがとうございました



特定非営利活動法人むすびいと